

2024年度

事業計画

自 2024年 4月 1日

至 2025年 3月31日

公益財団法人 正力厚生会

【活動方針】

◆がん患者支援事業のポイント

正力厚生会のがん患者助成事業は、①「がん患者団体への助成」②「医療機関への助成」③「読響ハートフルコンサート」を3本柱として進めている。

「がん患者団体への助成」では、患者団体の事業計画の内容を最も重視しつつ、資金に乏しい団体や、地方に活動拠点を置く患者会にも配慮して助成先を決定する。

「医療機関への助成」は、「がん情報ギフト」を活用して図書館と拠点病院の連携を図る国立がん研究センターの「がん情報ギフト 結ぶ」事業などに助成する。このほか、帝京大学医学部などの「がんの在宅療養支援プロジェクト」による冊子「在宅療養ガイド」改訂版の拠点病院配布に向けた助成を行う。

「読響ハートフルコンサート」は、2024年度も地域バランスを踏まえて全国8医療機関で開催する。

＜患者会活動への支援＞

全国のがん患者会、がん患者支援団体などで、資金不足からイベントやプロジェクトなどの実施が困難な団体を公募し、活動資金を助成する事業。2007年度から始まり、2024年度で18回目となる。新型コロナによる活動の制約が薄れたことなどから、計49団体（2023年度32団体）から応募があり、2月8日の専門委員会でのうち25団体（同24団体）への助成を内定した。事業内容に応じて1団体に最高50万円を助成する。

＜医療機関への助成＞

「がん情報ギフト」事業継続の支援

図書館にがん情報の冊子セットを寄贈する国立がん研究センターの「がん情報ギフト」事業には、2019年度から助成を行ってきた。がん情報の窓口として図書館が役立てるよう、拠点病院等と連携した啓発イベントを開く「がん情報ギフト 結ぶ」事業などに、230万円を助成する。

冊子セットは全国642館（2024年1月現在）に寄贈され、図書館司書と拠点病院相談員らによる交流研修会や、がん関連選書の図書館巡回展開催なども行われている。

「がんの在宅療養支援プロジェクト」事業継続の支援

帝京大学医学部などによる「がんの在宅療養支援プロジェクト」が2015年度に制作した冊子「がん患者さんとご家族をつなぐ在宅療養ガイド」の改訂版が5月に発行される。当財団の助成などを基に発行されるこの冊子は、がんの診断、治療、経過観察から看取りまでの療養全般を網羅したガイドとなる。

冊子の周知と普及を図るため、拠点病院等への配置費用などとして120万円を助成する。併せて、国立がん研究センターの協力も得て「がん情報ギフト」寄贈先図書館に購入図書への選定を呼び掛ける。

＜QOL(クオリティー・オブ・ライフ)向上への助成＞

読響ハートフルコンサート(継続)

がん患者や家族たちの心を癒すには音楽が有効と考え、2007年度から公益財団法人読売日本交響楽団の演奏者を病院に派遣して、待合室ロビーなどで弦楽四重奏を披露している。

開催数は8会場とし、新型コロナで中止した会場を含めて全て初開催となる以下の病院に内定した。5月は初の小児がん対応病院での開催となる。

2024 年度読響ハートフルコンサート開催予定

5/13 東京都立小児総合医療センター	東京都府中市	初開催
6/4 倉敷中央病院	岡山県倉敷市	(20 年度中止)
7/5 鳥取大学医学部附属病院	鳥取市	初開催
8/27 富山大学附属病院	富山市	初開催
9/17 総合病院土浦協同病院	茨城県土浦市	初開催
10/5 聖隷浜松病院	静岡県浜松市	(20,21,22,23 年度中止)
11/1 市立奈良病院	奈良市	(20,21,22 年度中止)
11/19 札幌医科大学附属病院	札幌市	初開催